※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０５

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「文学国語」　（数研出版）						
副教材等	「国語必携パーフェクト演習三訂版」（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
．様々な文章を通し「読む能力」を向上させるとともに、意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
．家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずにしっかり取り組みましょう。
授業中のノートについては板書をただ書き写すだけでなく、授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していき、理解を深めていきましょう。

2　学習の到達目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を大きく伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」「読むこと」の各領域，生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	平成の小説を読む ［教材］「鍋セット」	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[読]：文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 c：筆者の考え方と比較しながら、自分の生き方について考えを深めようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート 振り返りシート
	昭和初期の小説を読む ［教材］「ナイン」	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[読]：時代背景をとらえながら、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 c：登場人物それぞれの人生をふまえ、自分の生き方について考えを深めようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート 振り返りシート
	文学的文章の創作 ［教材］「物語の終わり」	a：文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]：文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 c：作品を創作することに興味をもち、構成・展開や表現を工夫しながら書くことに取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート 振り返りシート
2学期	名作を読む ［教材］「こころ」上	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：作品に興味をもち、登場人物の生き方から自分自身の生き方に関する考えを深めようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート 振り返りシート
	名作を読む ［教材］「こころ」下	a：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[読]：作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。 c：詩歌を読むことに興味をもち、それらの形式や表現の特徴をふまえながらそれぞれの作品に描かれている情景や心情を読み取ろうとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート 振り返りシート
	表現を味わう ［教材］「山椒魚」	a：文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 b[書]：において、文章の構成や展開、表現のしかたなどについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の	定期考査	定期考査 ノート	ノート 作品 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		文章の特長や課題をとらえ直したりしている。 c:動物を擬人化した表現を新鮮に感じながら、筆者の創意、工夫や情景描写に対して興味、関心を強め作品のもつ面白みなどを楽しもうとしている。			
	表現を味わう ［教材］「件」	a:文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[読]:語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。 c:作品に興味をもち、文章の構成や表現の工夫について考えながら読み味わおうとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート 振り返りシート
三学期	名作を読む ［教材］「永訣の朝」	a:文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[読]:作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。 c:詩歌を読むことに興味をもち、それらの形式や表現の特徴をふまえながらそれぞれの作品に描かれている情景や心情を読み取ろうとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート 振り返りシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　30　）時間

・読むこと　…　（　40　）時間